

8月25日(金)18時30分より北秋田市民病院 大会議室において、平成29年度 県北支部ナイトセミナーが開催された。参加者は会員18名と例年より少なめであった。

DRLs2015 がリリースされ被ばく低減について各施設取り組みが行われている現状であると思われるが、今回は春に行われた放射線安全管理セミナーから自施設の空間線量分布図を作成する事を目的とし、秋田厚生医療センターの佐藤均会員を講師としてお迎えしPCを使用した実習を行った。

IVRを中心とした被ばくの基本から講師自施設の被ばく低減の取り組み等をご紹介いただき、診療放射線技師だけでなく医師や看護師と連携しそれぞれの現場で被ばく低減と対処法の取り組みが重要であること、その取り組みとして空間線量分布図を作成することは有用であることをご講演いただいた。

線量測定の方法、注意点などお教えいただき、すぐにでも取り組めると感じた。

今回使用したソフトは一目瞭然に線量分布を確認でき、現場スタッフに注意を促すための根拠となり大変有用である。

またIVRのみならず他のモダリティーでも使用することができるため、どの施設でも装置の特性を知ることができるツールである。

被ばくに対する知識を現場スタッフが共有し、被ばく低減につなげていきたいと思う。

(文責:岩根)



